

令和8年度 第2回 豊田市猿投地域会議 会議録

開催日時	令和8年5月28日（木）	開会	閉会
		午後7時	午後8時10分
会場	猿投北交流館1階 多目的ホール		
出席者	地域会議委員：15人		
	会長：梅村 寿 副会長：池田 利雄		
	委員：赤尾 昭仁 市川 泰成 大澤 嘉幸 加藤 津與志		
	鈴木 新次 近田 平夫 西村 進 乗松ひろみ		
欠席者	早野 敦喜 宮川 和正 宮川 鈴則 森 浩一		
	山田 育也		
傍聴者	なし		
事務局	猿投支所：小澤支所長、天野副支所長、岩村主事		
	1 豊田市民の誓い		
	2 会長あいさつ		
	3 新たな提言に向けた取組について		
	4 令和8年度の地域課題解決事業について		
	5 その他		

■議事（要約）

2 会長あいさつ

3 新たな提言に向けた取組について

資料1頁から11頁までを事務局から説明

【質疑応答】

委員：昨年度は地域課題のテーマを二つまで絞ったようだが、今年度再び検討し直すのはなぜか？

⇒会長：高齢者のテーマでは共助交通の導入を検討していたが、市の担当課の説明を受けるなどした結果、自治区単位の取組であり、地域全体で取り組むことが難しいとなった。消極的な選択で「交通安全」のテーマとするより、半数以上が新しい委員となったこともあり、改めて課題の検討をしたい。

【昨年度の協議内容を継続委員から説明】

・テーマ「高齢者」について

委員：高齢者対策は地区全体の課題として捉えていた。特に交通手段がない高齢者は、通販等で買うことはできるが、自ら外出して買い物に行く楽しみがなくなることを問題とした。その解決のために共助交通がいいと思ったので、先に実施している3地区の例や担当課など話を聞いた。しかし、うまく実施できている先行事例でも、その現状は担い手の高齢化による老老介護状態や後継者・

制度の維持が問題となっており、別のレベルで考えることが必要だと分かった。
共助交通を地域課題解決事業で解決するのは難しい状況と判断した。

- ・テーマ「交通安全」について

委員：ゾーン 30 プラスなど様々な交通安全対策が実施されているが、あまり目立たず効果がないように思える。朝の出勤時間には、農道を早い速度で通り抜ける車両もある。目に見えてわかる周知徹底が必要ではないか、ということを協議していた。

- ・テーマ「魅力発掘」について

委員：猿投山への登山者は年間かなりの数がいる。名古屋からなど、この地域ではない人も数多い。しかし、山頂から眺める景色は瀬戸方面になり、猿投地区ではない。山道の整備や展望断の整備を推したが、農産物でこの地域の魅力を発掘する事業として、現在地域課題解決事業で実施しているふれあいマルシェと被っている部分があるため、このテーマは外して「高齢者」と「交通安全」のテーマになった。

【グループ協議】

副会長：それぞれのテーマの経緯もあるが、新しい委員も遠慮なく意見を出してほしい。新たな視点で意見を言っていただきたい。地域の課題や、より良い猿投地区になるような考えを出してほしい。

- ・ 3 グループに分かれて協議

次回各グループの協議内容を事務局から報告

4 令和 8 年度の地域課題解決事業について

猿投ふれあいマルシェチラシ配布説明

5 その他

【情報共有】

- ・ 4、5 日前四郷小学校区の高町で児童がズボンを下げられた事案発生したと聞いた。不審者出没の情報があつたので、注意喚起した。

【事務連絡】

- ・ 担当者近況報告
- ・ 次回の予定

日 時：令和 8 年 6 月 25 日（木） 午後 7 時から

場 所：猿投北交流館 1 階 多目的ホール